

善行地区郷土づくり推進会議

ニュース No.5

2015年2月25日



地域の課題を 地区全体集会で意見交換

2014年12月20日(土)に、藤沢市と善行地区郷土づくり推進会議の共催で、「善行地区全体集会」を開催しました。

会場の善行市民センター体育室では、地域の課題などについて2時間にわたり、総勢69人による活発な意見交換が行われました。

集会は、市からの善行市民センター・公民館再整備の現況報告に続き、第1部が郷土づくり推進会議の取組状況の報告、第2部は鈴木恒夫市長と「地域コミュニティの醸成」をテーマに意見交換を行い、多くの方々から、さまざまなご意見やご提案をいただきました。

ご参加いただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。

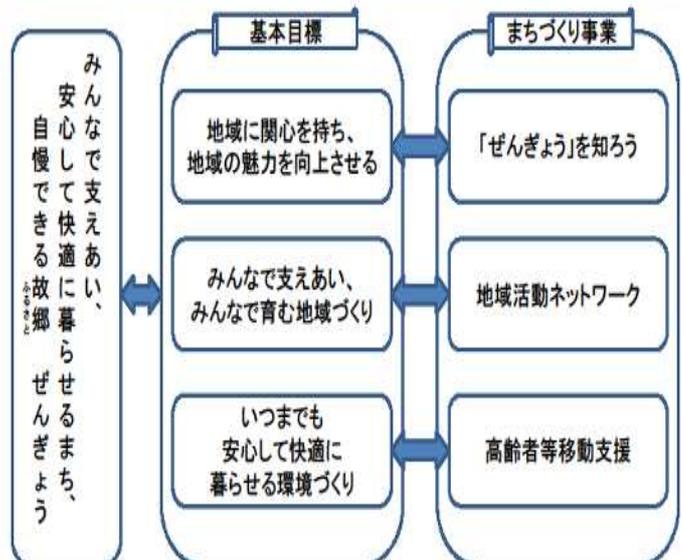
善行地区郷土づくり推進会議議長
定永 哲雄



基本指針

まちづくりテーマ

みんなが元気で、誰にも優しい 坂のまち



第1部 郷土づくり推進会議の取り組み

第1部では「郷土づくり推進会議の取り組み」の状況について報告いたしました。「郷土づくり推進会議」の役割や、善行地区での「まちづくりのテーマ」や「基本方針」の説明をはじめ、現在、取り組みを進めている3つの事業についての報告をしました。

「ぜんぎょう」を知ろう事業

地域に関心を持ち、地域の魅力を向上させることを目指し、講演会・勉強会の開催や、公民館まつりでの展示などを行っています。

地域活動ネットワーク事業

みんなで支え合い、みんなで育む地域づくりを目指し、地域活動団体間の情報交流会や、地域事業への協力などについて検討を行っています。

高齢者等移動支援事業

いつまでも安心して快適に暮らせる環境づくりを目指し、「のりあい部会」、「バリアフリー部会」の2つの部会を設置し検討を進めています。両部会からそれぞれ、取り組み状況の報告をしました。

～「のりあい部会」からの報告～

これまでの取り組み経過を含め、現在、優先して検討を進めている「善行地区東部での新たな公共交通」として、2月から始まる「乗合タクシーの実証運行」の概要について、説明をしました。

多くの方々に利用していただき、皆様のご協力をいただきながら、この「新たな交通」を実現させたい旨、お願いをいたしました。

(質問の要点) ・ 「のりあいバス」のアンケートの実施方法は。

(回答の内容) ・ 運行対象の9自治会にアンケートを実施。内容は、利用の有無、利用頻度、運賃、利用時間帯、利用目的等。

回収率は約40%で、この結果をもとに実証運行につなげた。

～「バリアフリー部会」からの報告～

善行駅周辺地区における「バリアフリー事業」の検討状況、重点的に整備を行う「重点整備地区」などについて説明をしました。

坂道の多い善行で、少しでも住みやすくなるよう取り組みたい旨、報告をいたしました。

(質問の要点) ・ 藤沢市の交通マスタープランやアクションプランとの関係。

- ・ 既存の道路の傾斜、凹凸、階段や坂道等の滑り防止対策や補修要望。
- ・ 歩道が狭い、ガードレールを歩道でなく車道側へ設置できないか。
- ・ 歩車道とも整備が必要、車いすも通れない場所あり。良い方法はないか。
- ・ 善行駅西口のロータリーの混雑解消策の要望。

(回答の内容) ・ 交通マスタープラン等とは関連があるが分けて考えている。

- ・ 重点的に整備をするエリアを設ける。それ以外のエリアでも通常の道路整備や道路維持方針の中で検討していく。
- ・ 善行駅西口のロータリーは車の駐停車等を含めて市と話しをしている。時間はかかると思うがぼつぼつやっていきたい。



第2部 鈴木恒夫市長との意見交換

質問 地域の縁側事業の今後の進め方を教えてほしい。

回答 地域の方が使い勝手が良く、また運営しやすいようアレンジして進める。

質問 地域の縁側事業について、巡回型など常設しない方法も考えてほしい。

回答 地域の方が「そういう方向が良い」ということであれば検討する。

質問 善行地区内に公立の小・中学校を新設する予定はあるか。

回答 予定はない。

質問 何かあった時にお互いに助け合う「向こう三軒両隣」を発展させた「向こう十軒両隣制度」を提案する。

回答 「人の和」を目標の一つにしているので、そういう仕組みも考えたい。
近所の方が力を合わせることは、大変良いことだと思っている。

質問 市民の家、行政指導、オンブズマン制度の在り方について考えを聞かせてほしい。

回答 市民の家については、在り方の検討を進めている。行政指導については、市民の皆さんと市が協働する中で市の考え方を示していく。オンブズマン制度については、「馴れ合い」等の誤解がないよう注意する。

質問 市民の家については、過去に提言書を提出したが回答がない。

回答 (市民自治部長) それも含めて在り方の方針を決めることになっている。

質問 市民の家の有効活用については、住民参加型の検討会を設けてほしい。

回答 (市民自治部長) 利用者を含めて、ご意見をうかがう機会を設けたい。

質問 市の北部に福祉会館を建ててもらいたい。

回答 市の本庁舎の建て替えの中で考えたい。まず拠点施設を造って全市をまかなえる機能的な状況にし、その後必要であれば北部にも考えたい。

質問 市の行事への参加者が少ない。努力をしてほしい。

回答 しっかり取り組んでいく。

質問 歩きたばこの禁止等、禁煙条例を作してほしい。

回答 市民憲章にも「きまりを守りましょう」という言葉があるが、絶えずそういったことを大切にしながら、皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

要望 地域活動を充実するためには、行政組織内の横の連携とともに、市民センターや市民自治推進課の機能を強化する必要がある。

「ご意見カード」から

郷土づくり推進会議の取り組み状況について

- ・役割がよく理解できた。
- ・ボランティア活動をしたい人が参加しやすい仕組みづくりに賛成する。
- ・山積する課題を一つ一つ解決してほしい。
- ・部会（のりあい部会、バリアフリー部会）の取り組みは身近なことだけに、どんどん進めてほしい。

のりあい部会（高齢者等移動支援事業）について

- ・のりあいタクシーの運行に期待している。
- ・高齢者の交通手段の確保とともに、元気な活動が介護保険の軽減にもつながる。

バリアフリー部会（高齢者等移動支援事業）について

- ・取り組みは画期的で、高齢者・障がい者にとってうれしいことだ。
- ・車よりも歩行者保護を優先してほしい。
- ・善行駅東口から体育センターに続く階段を緩やかな坂道にするか、エレベータやエスカレータを設置してほしい。
- ・県道467号線の体育センター前の制限速度を、40キロに変更してほしい。
- ・県の施設が多く含まれるため、県との協議の場を設け地域の要望を反映してほしい。
- ・体育センター南側と駅から消防署付近にかけて、歩道や自転車道を整備してほしい。
- ・駅周辺に公園や椅子に腰掛けられる場所、陽だまりでのんびりできる空間がほしい。
- ・散歩のときなど、一休みできる場所がほしい。

その他

- ・禁煙条例を設けてほしい。（歩きたばこ、隣近所に迷惑をかける喫煙等）
- ・制限速度オーバーの乗用車が目立つので、社会全体で注意を促すことが大切。
- ・「全国主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で藤沢市が1位になった。
さまざまな機会で紹介してほしい。



善行地区郷土づくり推進会議は、
「私たち住民の熱意が安全安心な
『郷土づくり』を実現する !!」

という意気込みで、諸課題の改善に取り組んでいます。

と一緒に、善行の「今」を考え、善行の「将来」を創りましょう。

<編集・発行> 善行地区郷土づくり推進会議

<お問い合わせ> 善行市民センター地域担当

電話 0466-81-4431（土・休日を除く 8:30～17:15）

